

特別講演謝辞

無敵剛介

最新のME技術を導入され、微小循環における最先端の研究内容を非常にわかりやすく示していただいた。微小循環での流れの微量の変化を定量的に観察する新しい方法を開発され、diffusion, filtrationなどの現象も鮮明な画像としてみせていただいた。先生は最近、とくにいわゆるClinical hemorheologyという方面の研究を推進され、今年度の日本ME学会でも新しい観点からの人工臓器としての人工肝臓についての物質移動モデルについて講演されている。単に血流のダイナミックスを追究するというにとどまらずに、種々の疾患と、流れている血液物性との関連性についての新しい観点から多くの研究発表があり、

現在、この方面の第一線の研究者であります。今回のテーマである「血流制御」の問題をわれわれ、新しい先生のご研究の内容とともに、新しい観点から知ることができました。先生はこの方面での研究の第一人者でいらっしゃるだけでなく、現在、この方面の研究の精力的推進者であります。したがって、今後、この方面の研究は飛躍的に進歩するものと信じており、今回のご講演により先生のclinical hemorheologicalな考えを背景に微小循環における血流の多面的現象を目のあたりに知ることができ、われわれにとって大きなよるこびでありました。今後、先生の益々のご研究の発展を期待しまして謝辞と致します。

* 久留米大学医学部麻酔科